

バクテリアン・A2 微生物土壌植物活性剤バクテリアン A 2

バクテリアン A2 は作物の高品質化と多収穫を実現させる為に開発された微生物資材です。

バクテリアン A2 の微生物群は、作物の根に働きをかけ栄養吸収根を増加させ、肥料吸収の促進が期待できる微生物液体資材です。

バクテリアン A2 の微生物群

- 光合成細菌・・・バクテリアン A2 の光合成細菌は、紅色無硫黄細菌に属する光合成細菌です。
植物体への窒素供給や硫化水素ガスの分解に効果があり、アミノ酸を分泌します。
- 乳酸菌・・・悪玉菌を抑える効果があり、土中の栄養分を作物が吸収しやすい状態にします。
有機酸を分泌します。
- 特殊土壌有用細菌・・・バクテリアン A2 の複数の微生物のバランスをとる共生菌です。
バランスのとれた微生物群から、作物の吸収しやすいアミノ酸と核酸を分泌します。

バクテリアン A2 の主な効果

- 発根促進・・・高濃度の微生物群から発生する分泌物（アミノ酸）は、作物の根を育てる栄養源になります。
効果的な使用の場面：① 定植時期の根張りの向上に。② 低温期の発根促進に。
② 追肥の時。（追肥の効果を向上させます。）
③ 施設園芸では灌水時に液肥と混用し、定期的 사용합니다。
- 肥料効果の向上・・・バクテリアン A2 と液肥を同時施用することでの、液肥の効果を向上させます。
効果的な使用の場面：① 定期的な灌水時に混用する。
② 微量要素資材の使用するとき同時に施用する。
※ 発根促進により同時に施用する液肥の効果を高めます。
③ 残留肥料成分が多い時。
- ガスの分解・・・バクテリアン A2 の光合成細菌が硫化水素ガスを分解します。
効果的な使用の場面：① 有機物が土中に多くある時。② 水稻の田植え時に。
- 微生物の多様化・・・土中の有用微生物の働きを向上させます。
効果的な使用の場面：① 堆肥を使用している時。
② バクテリアン 55 のような放線菌資材を使用している時。

バクテリアン A2 の使用時期

- 育苗時期・・・播種直後から使用することができます。
作物により使用方法は異なりますが、葉面から土中へ希釈液が落ちるように散布します。
- 本圃栽培時期・・・定植直後から、収穫終了時期までどのタイミングでも使用することができます。
本圃での使用は灌水が主な施用方法になります。
ビニールハウスでの栽培では、液肥投入のタイミングに合わせて月に2回の施用が最も効果的です。